

交流及び共同学習

普通高校と特別支援学校高等部の普段着的交流

～川西高校と川西分校の歩み～

小出特別支援学校川西分校(高等部) 石崎 隆・石坂春美

ねらい・目標

インクルーシブ教育へ

- ・高校内に設置された特別支援学校
- ・現状把握と課題分析
- ・高校:通級による指導がH30開始

重要な要素とは

- 1 相互理解=時間が掛かる
- 2 普段着の交流の大切さ
- 3 最初は、職員の交流が最優先

実践1



対面式
両校が学校紹介



体育祭
交流種目で協力

実践2



合同文化祭
出店と書道作品
コラボ



ボランティア部
生徒と過ごす

成果 同世代同士がフラットな関係性の中で学び合う

高校: 交流から介護福祉士を目指す

川西分校:

- ・自然な交流が、社会性を育む
- ・良さを認めてもらえ、卒業後の地域での共生の一步につながる

職員: 研修会交流・円滑な学校運営

課題

- ・学習での交流が必要(介護・福祉)
- ・高校で特別支援教育の視点を
- ・地域の中で、特支学校の存在感UP